

大気科学研究部門第5回成果報告会



東京理科大学総合研究院大気科学研究部門の成果報告会を行いますので、ぜひご参加ください。

日時 2020年3月13日(土) 13:00-18:30 zoomで開催します。

Zoomアドレスは後日連絡します。参加希望者は三浦 miura(a)rs.tus.ac.jp までご連絡ください。

【化学的アプローチ】

- 13:00-13:15 大気中の微量な水素濃度の測定 加藤 俊吾 (東京都立大学)
- 13:15-13:30 富士山頂における日本上空のラドン濃度の観測 永野 勝裕 (東京理科大学理工学部)
- 13:30-13:50 山と街での大気エアロゾル粒子とアンモニアの研究 長田 和雄 (名古屋大学)
- 13:50-14:10 自由対流圏および首都圏における10年間の大気化学観測から分かったこと
～雲水化学, 越境大気汚染, 火山噴火, 都市型豪雨, マイクロプラスチック～
大河内 博 (早稲田大学)
- 14:10-14:25 北極圏に沈着した黒色炭素粒子に関する研究 森 樹大 (東京理科大学理学部)
- 14:25-14:40 大気中非吸湿性スス粒子の表面接触角と微量付着物に関する研究 上田 紗也子 (名古屋大学)
- 14:40-15:00 エアロゾル粒子の形態、組成、混合状態：大気中での変化と地球気候への影響
足立 光司 (気象研究所)
- 15:00-15:20 コーヒーブレイク

【物理的アプローチ】

- 15:20-15:35 山岳域における偏光OPCによる大気エアロゾル観測 小林 拓 (山梨大学)
- 15:35-15:50 長期観測からわかるエアロゾルの光学的特性 青木 一真 (富山大学)
- 15:50-16:05 雲・エアロゾルの地上リモートセンシング手法の開発 工藤 玲 (気象研究所)
- 16:05-16:20 JAXAにおける衛星雲特性観測の現在, 将来 中島 孝 (東海大TRIC)
- 16:20-16:40 ライダーを用いた山岳・都市大気のエアロゾル空間分布の計測 矢吹 正教 (京都大学)
- 16:40-16:55 高反射クールルーフによる都市気温低減効果の推定 仲吉 信人 (東京理科大学理工学部)
- 16:55-17:10 東京の下層雲におけるエアロゾル雲相互作用 三隅 良平 (防災科研)
- 17:10-17:25 能登半島におけるエアロゾル粒径分布の経年変化 松木 篤 (金沢大学)
- 17:25-17:40 つくばで観測された新粒子生成の特徴とCCN個数濃度の関係 財前 祐二 (気象研究所)
- 17:40-18:00 山岳および都市大気エアロゾルの新粒子生成, 成長, 雲生成に関する研究
三浦 和彦 (東京理科大学理学部)
- 18:00-18:30 総評 (藤田先生、中島先生、植松先生)
- 18:40-20:00 リモート交流会